

米販売動向調査について（全米販）（令和7年9月分）

1. 回答数 53会員

2. 調査結果概要

Q1：昨年9月（6年9月）と比べた令和7年9月の米販売動向

「減った」と「やや減った」の回答を合わせると約60%となり、DI値は「36.3」。

Q3：3か月前（7年6月）と比べた米販売動向

「減った」と「やや減った」を合わせると約53%となり、DI値は「42.0」。

Q5：3か月先（7年12月頃）の米販売動向見通し

「減る見通し」と「やや減る見通し」を合わせると約55%となり、DI値は「35.4」。

3. 集計結果

Q1：昨年9月（6年9月）と比べた令和7年9月の米販売動向

回答者数（会員）					
合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
53	8	8	5	11	21
100.0%	15.1%	15.1%	9.4%	20.8%	39.6%

DI値
36.3

Q1(参考)規模別 DI値		
規模A	規模B	規模C
38.5	29.4	40.2

Q3：3か月前（7年6月）と比べた米販売動向

回答者数（会員）					
合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
53	11	6	8	11	17
100.0%	20.8%	11.3%	15.1%	20.8%	32.1%

DI値
42.0

Q3(参考)規模別 DI値		
規模A	規模B	規模C
38.5	39.7	45.7

Q5：3か月先（7年12月頃）の米販売動向見通し

回答者数（会員）					
合計	増える見通し	やや増える見通し	変わらない見通し	やや減る見通し	減る見通し
53	0	9	15	18	11
100.0%	0.0%	17.0%	28.3%	34.0%	20.8%

DI値
35.4

Q5(参考)規模別 DI値		
規模A	規模B	規模C
36.5	33.8	35.9

※「増えた」「増える見通し」は、「+5%以上」を指す。
 「やや増えた」「やや増える見通し」は、「+2～+5%未満」を指す。
 「変わらない」「変わらない見通し」は、「±2%未満」を指す。
 「やや減った」「やや減る見通し」は、「▲2～▲5%未満」を指す。
 「減った」「減る見通し」は、「▲5%以上」を指す。

※企業規模について

規模A：米穀の売上高が年間100億円以上、規模B：米穀の売上高が年間25億円以上～100億円未満
 規模C：米穀の売上高が年間25億円未満

～主な回答理由～

Q1：昨年9月（6年9月）と比べた令和7年9月の米販売動向

- 前年はコメ不足で9月の販売量が伸びなかったが、今年はコメ不足がない中での販売停滞となった。
- 備蓄米の影響が出て、量販店の6年産単品銘柄米の出荷の延期や中止が出ている。新米特売が無いため、量販店は大幅減。
- 精米の販売が大きく伸長した一方で、玄米の販売がそれ以上に落ち込んだため、結果としては数字を落とす結果となった。
 ただし、精米伸長の内訳としては外国産米や随意契約備蓄米、ブレンド米の販売が目立ち、価格偏重の購買動向が伺える。

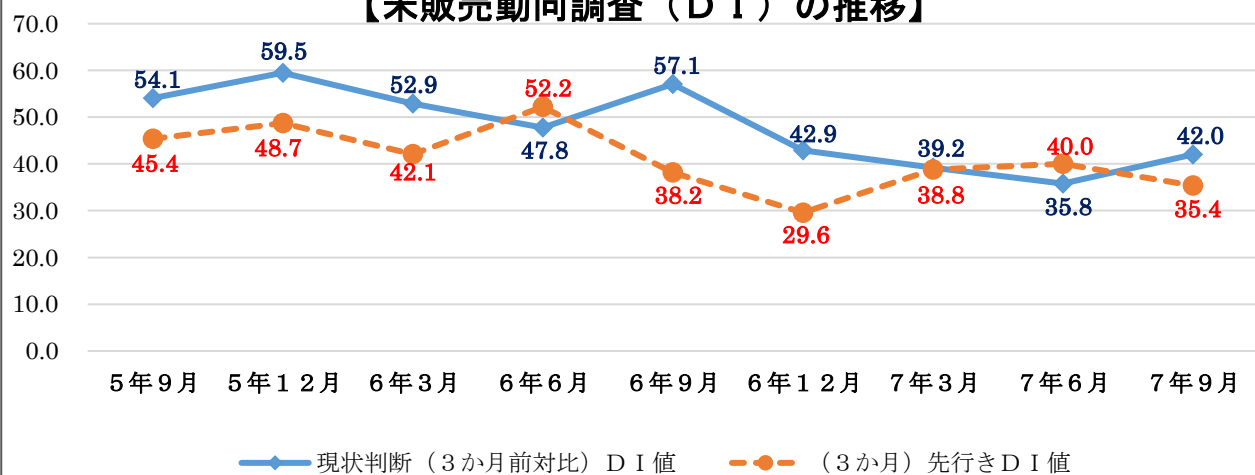
Q3：3か月前（7年6月）と比べた米販売動向

- 家庭用は備蓄米の販売終了と同時に一気に低迷。
- 随意契約備蓄米の販売延長に伴い、7年産の販売数量は単価が高いこともあり減った。
- 6月、大手スーパーについては随意契約備蓄米があり販売伸長。その反動が9月に出た形となっている。

Q5：3か月先（7年12月頃）の米販売動向見通し

- 米価高騰の影響で買い控えが生じ、量販店向けの数字が伸び悩むことが想定される。玄米販売は9月比で伸長すると見込む。
- 新米が本格的に出回り、価格は高止まりすると予測。小売での販売数は縮小、中食・外食での出方（使用量）も米の価格に応じてやや減少するのではと予測している。

【米販売動向調査（D I）の推移】



仕向先別内訳

Q2：昨年9月（6年9月）と比べた令和7年9月の米販売動向

＜仕向先別＞	合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	DI指数
（小売店向け）		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	8.6	14.3	20.0	11.4	45.7	32.1
中小スーパー	100%	8.0	26.0	16.0	18.0	32.0	40.0
米穀専門店	100%	6.7	15.6	28.9	20.0	28.9	37.8
その他	100%	13.9	11.1	25.0	16.7	33.3	38.9
（外食産業向け）							
外食向け	100%	8.5	21.3	44.7	14.9	10.6	50.5
中食向け	100%	6.1	14.3	46.9	14.3	18.4	43.9
給食向け	100%	7.8	5.9	62.7	17.6	5.9	48.0

Q4：3か月前（7年6月）と比べた米販売動向

＜仕向先別＞	合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	DI指数
（小売店向け）		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	5.7	22.9	11.4	17.1	42.9	32.9
中小スーパー	100%	12.0	22.0	12.0	20.0	34.0	39.5
米穀専門店	100%	4.4	6.7	42.2	26.7	20.0	37.2
その他	100%	14.3	17.1	42.9	5.7	20.0	50.0
（外食産業向け）							
外食向け	100%	13.0	13.0	52.2	15.2	6.5	52.7
中食向け	100%	8.2	18.4	44.9	16.3	12.2	48.5
給食向け	100%	8.0	4.0	68.0	18.0	2.0	49.5

Q6：3か月先（7年12月頃）の米販売動向見通し

＜仕向先別＞	合計	増える見通し	やや増える見通し	変わらない見通し	やや減る見通し	減る見通し	DI指数
（小売店向け）		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	0.0	20.6	32.4	26.5	20.6	38.2
中小スーパー	100%	0.0	12.2	34.7	32.7	20.4	34.7
米穀専門店	100%	0.0	0.0	50.0	29.5	20.5	32.4
その他	100%	0.0	8.8	52.9	14.7	23.5	36.8
（外食産業向け）							
外食向け	100%	0.0	13.0	56.5	21.7	8.7	43.5
中食向け	100%	2.1	2.1	64.6	20.8	10.4	41.1
給食向け	100%	0.0	2.0	83.7	10.2	4.1	45.9

*D I（diffusion index）の算出方法：内閣府で発表している「景気ウォッチャー調査」方式を採用した。具体的には、5つの回答選択肢に均等に0～1の評価点を与え、各回答の構成比に対応するそれぞれの評価点を乗じ、それらの合計を指数（%ポイント）としてDI値を算出。それが50の場合は横ばい（現状維持）を示す。0に近づくほど販売が低迷傾向にあることを示し、逆に100に近づくほど販売が好調傾向であることを示す。

（算出例）	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
評価点 A	1	0.75	0.5	0.25	0
結果（構成比） B	17.8	20.0	20.0	22.2	20
各DI値 C=A×B	17.8	15	10	5.6	0
D I 値（合計）	48.4→米販売の動きはほんの少し低迷傾向				